



# よろこび便り

天成会 小林内科診療所 腎透析センター



明けましておめでとうございます。

新年を迎え、謹んでご挨拶申し上げます。

日頃より皆様から小林内科診療所へのご理解とご協力を頂き、  
心よりお礼申し上げます。

去年は、7月の豪雨で西日本広域に大きな被害をもたらし、  
全国的に台風や夏の降雪など異常気象が続きました。被災された方々へお見舞い申し上げるとともに、今年には穏やかな一年となるよう祈念しております。

平成最後の正月となりました。平成の30年を振り返ってみますと、太平洋戦争の反省と、ゆるぎない平和への思いであったと思います。犠牲者への慰霊、そして将来の日本や世界の平和の礎を築かれたと思います。また、東北大震災や、阪神淡路大震災の際にも率先して足を運ばれ多くの人を励まし助けられました。5月1日に新たな時代になりますが、皆が、明るく安心して、希望のもてる平和な世の中になるよう切に願っております。

透析医療は、日々進化しております。透析機械（コンソール）の自動化（プライミング）、電子カルテ化（透析機械との連携）、透析膜の進化、内服を静脈注射に変更出来たり、薬の数を減らすことが出来たり、などです。また、先進医療としてiPS細胞で人

工腎臓を作れないかの研究もされております。いずれ、出来ると信じております。当院も研究会に足を運び、より良い透析治療を患者様に提供できるように切磋琢磨し頑張りますので宜しくお願い申し上げます。

新年を迎えるにあたり新たな気持ちを持って皆様方の健康・生活の充実を目指し、安心安全な医療を提供できるよう日々励んでいきます。

最後に、皆さまにとって幸多い年になりますよう祈念し、年頭のご挨拶といたします。どうぞ今年もあたたかいご支援とご助言をこころよりお願い申し上げます。



原口 総一郎

